

ふじしろ政夫と共に県政・市政を変えよう！

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50
Eメール masao.fujishiro@zc.wakwak.com

ニュース 2011年5月号
TEL & FAX 047-445-9144
ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

県政を市民の手に！

千葉県議会にのぞんで

ふじしろ政夫



2011年4月10日の千葉県議会議員選挙において10,519人の信託をうけて、当選いたしました。多くの市民の期待を重く受け止め心も体



為藤代 政夫 殿

祝 千葉県議会議員 当選

当選を祝う

も引き締まる思いです。「県政を市民の手に！変えよう県議会」と訴えました。情報の徹底的な公開と市民参加を県議会・県政に取り戻し、文字どおり『市民自治』の政治を

つくりあげていきたい思いです。

県道の安全化、洪水対策、障がい者施策、地域医療、介護福祉、子育て支援策、三番瀬ラムサール条約登録と問題は山積しています。

そして、何よりも3月11日の東日本大震災で被災された千葉県下の人々と地域への支援。宮城・岩手・福島を始めとする今回の災害へ全国1億3千万人が一丸となって難局を乗り越えていく為に“悲しみの分かち合いの政治”“お互いに助け合う政治”を今すぐ立ち上げなければなりません。

更に、福島第一原発事故は、チェルノブイリと同等の7レベルになってしまいました。県民の命と健康・生活を守る為、県の原発対策をもすぐに作成実施しなければなりません。危機管理の基本である“正しい適切な情報の公開”“迅速な対応”が求められます。

風評被害も発生しています。国の責任者が「今のところ安全です。大丈夫です」と言い続けているうちに最悪の状況が目の前に現れた

のでは、国民は何を信じていいのかわらなくなります。県議会としての責任と役割は大きなものがあります。

4/30以降千葉県議会議員として活動させていただきます。5/9以降に県議会で全員協議会が開催され議員活動の開始となります。皆様のさらなるご支援をいただき「市政＝県政」の視点でより良い鎌ヶ谷市・千葉県をつくっていく決意です。今後も宜しくご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

㊦藤代 政夫	: 10,519 票
㊦皆川 輝夫	: 13,370 票
篠崎 史範	: 7,504 票

新しい船出によせて



多くの皆様のご支援を頂いて、新しい県議会議員が誕生しました。私たちは今までにない様な県議会議員を誕生させたいとの思いでこの一年頑張ってきました。

政党や労働組合、大きな団体等の支援を受けず、市民の力で勝ち取った県議会議員です。

様々な期待をされての当選ですから大変だろろうと思いますが、県政と市政との懸け橋として、市民目線を忘れずに活動を続けてほしいと願っています。県政を解り易く、身近なものにしてほしいと思います。

ご支援いただいた皆様には「ふじしろ政夫」の活動を見守って頂き、さらなるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

「ふじしろ政夫と共に市政を変える会」

会長 田中幹雄

千葉県の危機管理

—東日本大震災・福島原発事故への対応—



3/11の大震災、いまだにガレキの山。死者1万4千人以上・行方不明1万2千人、更に福島原発事故はチェルノブイリと同等の最悪の状況。この大惨事を乗り越えて

いく確かな“政治力”が求められています。

千葉県の対応・鎌ヶ谷市の対応は……

【鎌ヶ谷市】

3/11の地震に対する対応は早いものがあり、義援金・支援物資の受付、消防隊員の陸前高田への派遣、市内の被災者への調査・援助も行われています。

福島原発事故については、県水道取水口での放射性物質ヨウ素220ベクレルの検出時、井戸水の供給をしましたが、食料品や市民の健康についての対応は県の指示待ちとのこと。1日も早い対応が待たれます。

【千葉県】

対策本部がたちあげられているが、動きが今ひとつ見えません。

- ① 県下の被災に対して4/1に“復旧・復興本部”がたちあげられ、国へ財政支援、液状化対策、放射性物質の監視の充実等を要望書として出したとのこと。液状化被害支援に県独自で対応(60億円)。他は検討中
- ② 県外、東北地方への支援は、ただ今検討中。
- ③ 福島原発事故対応

野菜などは毎週4ブロックから検体を「分析センター」へ送り、分析依頼しているとのこと。

ほうれん草など出荷制限されていた(4/23解除)旭市・香取市・多古町の農家への財政的援助を責任者たる国に要望している。県独自の対応は今のところ無し。

総じて県独自の動きをとろうとしていない様に見受けられるのは残念です。

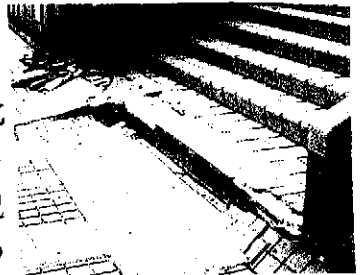
620万県民の命を守る県としてのポリシーと実行が求められます。

現地調査

浦安市液状化被害

3/11の大地震により、浦安市はほぼ全域にわたり液状化現象が発生。特に下水道が壊滅的で、やっと4/18現在応急対応が終わったとのこと。今後仮・本工事が続くこととなります。

市内にはまだ液状化の泥の残滓が多く残っており、埃っぽい状況でした。美浜1丁目の「オリエンタルホテル東京ベイ」前の歩道は数10cmの段差ができたまま。激甚災害法の救済対象に「液状化項目」がないのは問題です。



「栗野の森」平成25年度一部オープン



栗野の森自然公園の森の部分5.6haが平成25年度末にオープンの予定。公園の具体像を決めていく段階になりました。

“人と生き物たちが共存できる自然公園”となる

よう「栗野の森の会」は市に協力していくとのこと。栗野の森の会・栗野自治会や市民との協働のモデルとして、より良い成果が期待されます。



市民の声

文化力で新しい魅力を鎌ヶ谷に!

大震災と原発事故等、大災害のニュースが連日新聞やテレビの一面で報じられ続けている昨今ですが、こんな困難な山を掘り抜くためには、過去のように経済一辺倒ではなく堺屋先生が云われた様に「文化力」が必要だと思う。

鎌ヶ谷を単なる「通過都市」としないで、周辺都市から来て頂ける「ゆっくり楽しむ街」に創造したい。その為には隠れた文化資源の掘り起こしと人材の育成に力点を置く必要があると思う。こんな大切な時期に、期待される藤代県議が誕生したことは鎌ヶ谷市にとって本当にラッキー!です。おめでとうございます。

道野辺中央 糟谷 聡介